

■題材について

伝えたい内容を効果的に表すために、アニメーションの特性を生かして創造的な構成を工夫し、構想を深める。また、他者の作品から、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。本題材では、端末上の基本的な操作での制作とすることから、「技能」の指導及び評価を位置付けない題材とした。

■指導事項(例)「内容のまとめり」

A表現 (1) ア (ア)、B鑑賞 (1) ア (ア)、[共通事項] (1) ア、イ

【参照】 中学校学習指導要領解説美術編 P160～161

■題材の目標(例)

技能の指導と評価は位置付けないこととした

(1) 知識及び技能

- ・色彩、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解する。

何から主題を生み出すのか

(2) ・「○」の気持ちを想像したり考えたりしたことを基に主題を生み出し、効果的な色彩と動きの組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。

- ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。

(3) ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に気持ちを効果的に表す色彩や動きを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

どのような活動なのか

■題材の評価規準(例)

何から主題を生み出すのか

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知 色彩、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。</p>	<p>発 「○」の気持ちを想像したり考えたりしたことを基に主題を生み出し、効果的な色彩と動きの組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に気持ちを効果的に表す色彩や動きを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

技能の指導と評価は位置付けないこととした。

どのような活動なのか

どのような活動なのか

■指導と評価の計画(例) 3時間 (中学校第2学年)

参照「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(中学校美術)

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
<p>1. 発想や構想と制作(2時間)</p> <p>●アニメーション作品を鑑賞し、主題とアニメーション表現の特性や効果について理解する。</p> <p>・アニメーション作品を基に効果的に内容を表現している色彩や動きについて話し合う。</p> <p>●主題を生み出し、創造的な構成を考え構想を練る。</p> <p>・主題を基に、「〇」の色彩や動きを工夫してスライド機能を使って表現する。</p> <p>●主題をよりよく表現する色彩や動きの効果を考える。</p> <p>・スライドショーで確かめながら表現の改善をする。</p>	<p>知</p> <p>↓</p>	<p>発</p> <p>↓</p>	<p>態表</p> <p>↓</p> <p>態表</p>	<p>知 発言の内容、ワークシート</p> <p>態表 活動の様子、ワークシート</p> <p>発 活動の様子、ワークシート</p> <p>態表 活動の様子</p> <p>態表 主体的にアニメーション表現に取り組み、色彩や動きの効果や全体のイメージで捉えようとし、生み出した主題をよりよく表現するために改善を図りながら構想しようとする態度を評価する。【活動の様子、ワークシート】</p>
<p>2. 鑑賞(1時間)</p> <p>●生徒作品から、作者の表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>・お互いの作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合う。</p>	<p>知</p> <p>↓</p>	<p>鑑</p> <p>↓</p>	<p>態鑑</p> <p>↓</p> <p>態鑑</p>	<p>知 発言の内容、ワークシート</p> <p>鑑 態鑑 発言の内容、ワークシート、活動の様子</p> <p>態鑑 主体的に作品を鑑賞し、色彩や動きなどの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしてしているかどうかを評価する。【ワークシート、活動の様子】</p>
<p><授業外：題材終了後></p> <p>※ <input type="checkbox"/> 指導の改善につなげる評価を行う。</p> <p>※ <input checked="" type="checkbox"/> 題材の観点別学習状況の評価の総括に用いる「題材の評価規準」</p>	<p>知</p> <p>↓</p>	<p>鑑</p> <p>↓</p> <p>発</p>		<p>知 完成作品やワークシートなどから色彩や動きなどの効果についての理解や、全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを評価する。【完成作品、ワークシート】</p> <p>鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えて見方や感じ方を深められているかをワークシートから見取り評価する。【ワークシート】</p> <p>発 発想や構想については、主題や構想の工夫などを記入したワークシート等を完成作品と併せて見取り評価する。【完成作品、ワークシート】</p>